

事務事業名	21152 労働対策事業													
担当組織	環境経済部					経済戦略室					担当	労働農政担当		
組織コード	R3	15	01	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	05	01	01	01	01	記入日	令和 3年 6月11日
	R2	15	01	00		R2	01	05	01	01	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	06	活力と賑わいを創出できるまち									● 対象  ○ 対象外		
分野	01	産業創出・育成											
施策	67	労働環境の整備											
事業期間	平成16年度～令和3年度												
根拠法令 通達等	戸田市中小企業退職金共済掛金補助要綱・戸田市補助金等交付規則・職業安定法・雇用対策法・戸田市地域職業相談室設置要綱・勤労者福祉向上助成金交付要綱・戸田市勤労者住宅資金融資要綱								関連計画 施政方針				
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	就職を希望する人、勤労者												
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職希望の早期就職を支援するため、講座や相談体制の充実を図る。</li> <li>・市内勤労者の福利厚生の上昇や労働環境整備のための施策を実施する。</li> </ul>												
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職支援セミナーや就職支援相談、ハローワーク川口と連携した戸田市ふるさとハローワークの運営。</li> <li>・国中退共に加えした事業者に対する掛け金の一部の補助、労働団体を通じた労働者福祉への補助。</li> </ul>												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 ( ハローワーク等 )												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業費		77,661	56,680	88,981	88,981	88,981	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	37,000	37,000	37,000	37,000	
		一般財源	77,661	19,680	51,981	51,981	51,981	
	人件費		10,316.76	10,316.76	10,316.76	10,316.76	10,316.76	
	投入 人員	常勤職員	1.49人	1.49人	1.49人	1.49人	1.49人	
		非常勤職員	0.11人	0.11人	0.11人	0.11人	0.11人	
事業費+人件費		87,978	66,997	99,298	99,298	99,298		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	講座・研修会・セミナー等の開催数	回	左記の催事の年間開催数	28	25	12	
					26	11	-	
	活動②	戸田市ふるさとハローワーク求職者数	人	求職登録した年間延べ人数	1,100	1,100	-	
					1,102	878	-	
	成果①	講座・研修会・セミナー等への参加人数	人	左記の催事への年間参加延べ人数	300	300	90	
299					88	-		
成果②	国の中退共加入への補助	件	補助した件数	120	110	100		
				112	116	-		
目標達成状況の分析		B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 戸田市ふるさとハローワークでの求職者数については、新型コロナウイルスの影響で閉鎖していた時期もあったことから、目標数を大きく下回ることとなった。また、セミナーや研修会では、新型コロナウイルスの影響で開催を中止したこともあり、参加人数及び開催回数についても目標数を下回ることとなった。国の中退共の加入数については、前年度及び目標数を上回る数値となった。						

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	A	A	B	<判断理由> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、セミナー等について予定数を開催することが出来なかった。また、戸田ふるさとハローワークについても閉鎖期間があり目標値を達成することが出来なかった。しかし、市民の求職活動の利便性向上には貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 戸田市ふるさとハローワークについては、相談員の人件費を国が負担し、施設に関する維持管理費は市が負担と、費用の分担がなされており、十分に精査されているといえる。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> セミナーや就労支援相談については、チラシやホームページ等を活用した周知により一定数の参加者及び相談者があり、適正に実施できていると判断できる。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 就職支援セミナーや就職支援相談については、受講者及び相談者の大半を市民が占めていることに加え、求職者という立場を考慮すると、受益者負担としては適正な範囲と判断できる。

## 4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	市内事業者に対するアンケートに基づき、市内事業者においてニーズの高い人材確保への支援を行うことを目的とした「戸田市人材確保支援業務」について、パーソルキャリア株式会社と業務委託契約を締結した。「戸田市公的資格等取得支援事業補助金」を市内に居住する求職者を対象に加え、求職者の就労に向けての支援を強化した。
見直しの効果	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、想定した通りの事業は実施できなかった。しかし、実施方法を工夫して、セミナー等を開催した。パーソル株式会社を通じた求人において、採用につながった企業もあり、厳しい実施状況中にも一定の効果はあったと判断できる。「戸田市公的資格等取得支援事業補助金」については、令和3年3月22日から求職者を追加しているため、効果については引き続き様子を見ることとする。

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 令和元年に埼玉労働局と雇用対策協定を締結し、市内企業の人材確保支援等、市内の雇用面の課題についての認識を共有し、市と国が行う雇用対策を一体的に実施することとなった。連絡協議会を中心に、情報交換を行いながら、求職者のニーズに応える施策の実施が求められる。
今後の取組方針	中退共掛金補助については現状のまま継続し、状況を見ながら今後の方針について検討を行う。埼玉労働局との雇用対策協定に基づき策定された事業計画に取り組んでいく。年度末には連絡協議会を開催し、市と労働局との間で課題の共有を図り、必要な就労対策について検討を行っていく。令和3年度に労働者意識調査を実施し、その調査結果を基礎資料として、今後の労働者支援に活用をしていく。 「戸田市公的資格等取得支援事業補助金」に令和3年3月22日から求職者を加えているため、今年度は活用が促進するように広報を行う。